

紀の川市行財政改革推進委員会会議概要

日時 令和 5 年 2 月 2 日（木）9：55－10：30

会場 紀の川市役所本庁 4 階 402 会議室

出席者 仁藤会長／箕輪委員／赤井委員／恩賀委員／野村委員／中村委員／川端委員

事務局 栗本企画部次長兼企画経営課長／速水財政課長／西公共施設マネジメント課専門監
長田人事課長／中川人事課副課長／今井企画経営課班長／辻企画経営課副主任
増田企画経営課副主査

開会

会長挨拶

議題 1 第 4 次紀の川市行財政改革大綱（案）について

【企画経営課増田から説明】

川端委員 率直な感想として、これまで述べてきた意見を上手くまとめてくれている。また、大綱は時代に即したものである必要がある。その点では、新たな項目を追加したことは評価できる。今後、人口減少の影響による職員数の減少の中においても、市民のニーズの多様化が進むことが予測される。そうなった時に対応していくためには人材育成が重要であり、その要素の記述もされている。大綱を策定して終わりではなく、職員の中で共有し、一丸となり達成に向け、取組を進める必要がある。最終的な目標として、長期総合計画で掲げる目指すべき姿の実現がある。多様な主体に今回の取組を知ってもらい共に進めることが必要となる。

野村委員 内容としては上手くまとめられている。デジタル化への推進が大きな流れとなっており、デジタル化による効率化は周知の事実であり進める必要がある。その上で、重点的に行う内容として、デジタルデバインドへの対応であると思う。推進項目として 4 番目に記載されていると優先順位が 4 番目とわかれてしまう。記載の順番を前の方にする事で、市民の皆さんは安心するのでは。

また、長期総合計画との関係性を押し出しては。長期総合計画では人口 6 万人を掲げている。デジタル化の推進により便利になることで人口増加へとイメージが出来ればよい。長期総合計画と照準を合致するようにできればよいと思う。

- 企画経営課長 「デジタル化の推進」の推進の基本項目については、市民に対する取組、続いて、行政としての取組とし大きく二つの要素があります。内容の細分化として、デジタルデバイドについて記載しています。（１）市民の利便性の向上に続いて、デジタルデバイドへの対応の記載を検討します。
- 恩賀委員 デジタルデバイドのように高齢者ではすぐにわかりにくい用語が使用されている。わかりやすい言葉で置換出来ないものか。途中から見た際に、解説があるかわからない。
- 企画経営課長 用語説明に解説を載せているが、前段で既出の用語については注釈を省略しています。後出の用語の注釈についても検討します。
- 箕輪委員 閲覧を行うことで意見はある程度出るのか。
- 企画経営課長 前回第３次大綱の策定時については、意見はありませんでした。
- 箕輪委員 学校施設や公共施設の跡地の利用について。今後、学校等は再編されると思う。
- 公共施設マネジメント課専門監 学校施設が閉鎖され、未利用になっている場合があります。諸条件が整い次第、売却していく方針です。現在、公売を実施しているが、学校用地までは至っていません。学校用地について、行政財産から普通財産とする手続きを行った上で、公共施設マネジメント課として、諸条件を整備し、公売をはじめ、有効活用を行っていきます。
- 箕輪委員 学校自体が減るという計画があるということで聞いている。
- 公共施設マネジメント課専門監 教育部局として、学校施設の再配置を検討しており、まだ先になると思われるが、連携しながらやっていきたいと思います。
- 中村委員 今回示していただいた、基本目標や推進項目について、反対する理由はないが、具体的な数値目標については、いつ頃作成し、どこに示されるのか。
- 企画経営課長 第１回推進委員会において、第３次大綱に基づく、推進計画を用いて進捗状況について審議していただきました。そのような形で、PDCA サイクルに基づき具体的にどのような取組を行うのかを示した推進計画について、令和５年度に作成します。その上で、具体的な数値目標については、来年度の第１回推進委員会において審議していただきます。
- 中村委員 推進するための予算については、議会に付する形になるのか。

企画経営課長 予算が伴うものについては、議会にて可決いただいたものを実施します。

中村委員 具体的に物事を決定する際に、先ほどの施設の話に関しても、教育委員会で検討しているということで、各課とのすり合わせや組織的な運用が心配になる。

赤井委員 デジタル化を推進する上で、危機管理面ではどうなっているか。情報漏洩への対策は。

企画経営課長 セキュリティ対策の徹底として、推進項目として P12 へ記載しています。

仁藤会長 パブリックコメントの実施や、今日のご意見への対応等がありますが、概要として今回の大綱（案）について認めるということでよいか。

一同異議なし

その他 今後のスケジュールについて

【企画経営課増田から説明】

意見なし

仁藤会長 パブリックコメント実施後、ご意見を会長と事務局で取りまとめ、修正案については書面にて後日、郵送により委員各人に内容確認いただき、その後、答申を行うという流れを説明し、了承。

議長解任

閉会